

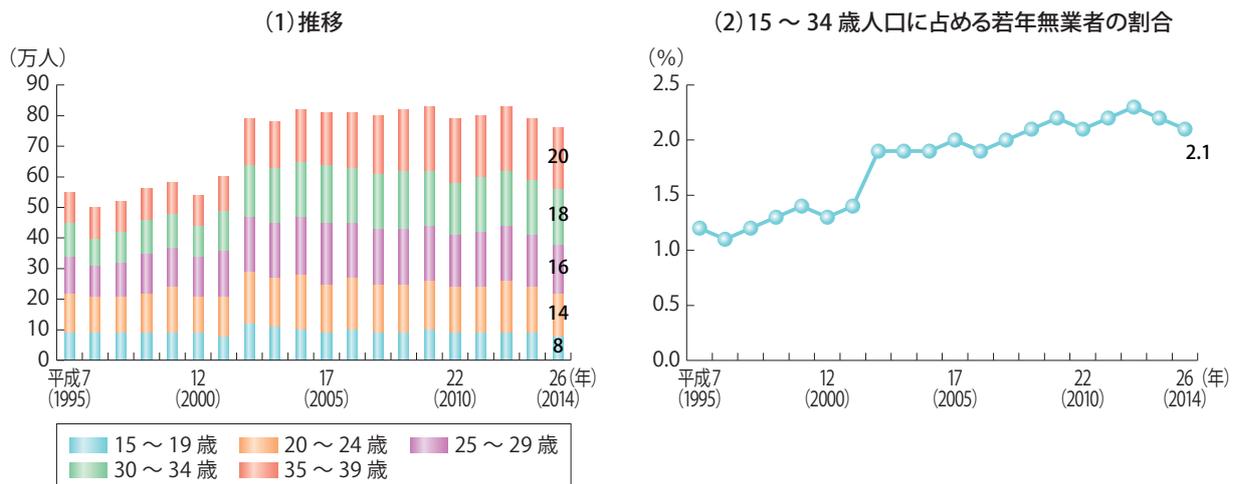
第2節 若年無業者，フリーター，ひきこもり

1 若年無業者，フリーター

(若年無業者)

○15～34歳の若年無業者は56万人，15～34歳人口に占める割合は2.1%。(図表34)

図表34 若年無業者数



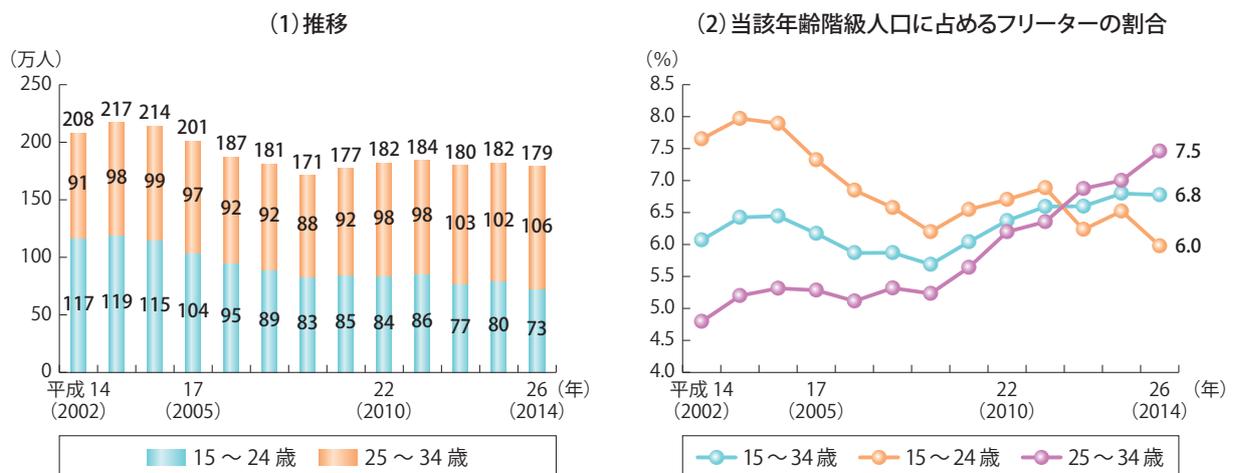
(出典) 総務省「労働力調査」若年無業者数

(注) 1. ここでいう若年無業者とは，15～34歳の非労働力人口のうち家事も通学もしていない者。グラフでは参考として35～39歳の数値も記載。
2. 平成23年の数値は，岩手県，宮城県及び福島県を除いたものである。

(フリーター)

○15～34歳のフリーターは179万人，15～34歳人口に占める割合は6.8%。(図表35)

図表35 フリーター（パート・アルバイトとその希望者）の数



(出典) 総務省「労働力調査」

(注) ここでいう「フリーター」とは，男性は卒業生，女性は卒業生で未婚の者とし，①雇用者のうち勤め先における呼称が「パート」か「アルバイト」である者，②完全失業者のうち探している仕事の形態が「パート・アルバイト」の者，③非労働力人口で家事も通学もしていない「その他」の者のうち，就業内定しておらず，希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」の者としている。

2 ひきこもり

○「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」者を含む広義のひきこもりは、69.6万人と推計。
(図表36)

図表36 ひきこもり群の定義と推計数

| | 有効回収数に占める割合 (%) | 全国の推計数 (万人) |
|-------------------------------|-----------------|---------------------------------|
| ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける | 0.40 | 15.3 |
| 自室からは出るが、家からは出ない | 0.09 | 3.5 |
| 自室からほとんど出ない | 0.12 | 4.7 |
| | | 狭義のひきこもり 23.6万人 ^(注4) |
| ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する | 1.19 | 準ひきこもり 46.0万人 |
| 計 | 1.79 | 広義のひきこもり 69.6万人 |

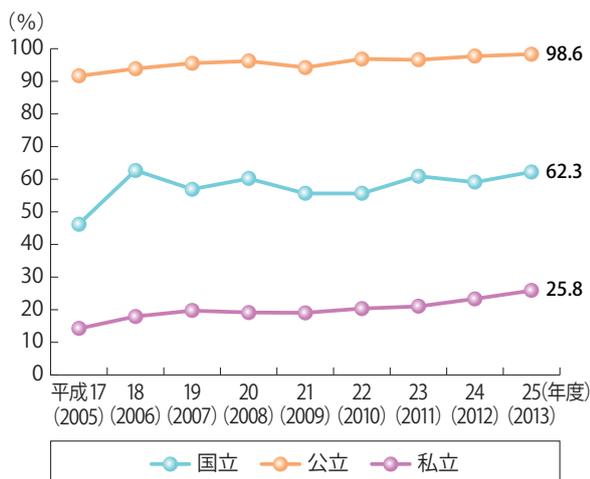
(出典) 内閣府 (2010) 「若者の意識に関する調査 (ひきこもりに関する実態調査)」
(注) 1. 15~39歳の5,000人を対象として、3,287人 (65.7%) から回答を得た。
2. 上記ひきこもり群に該当する状態となつて6カ月以上の者のみを集計。「現在の状態のきっかけ」で統合失調症または身体的な病気と答えた者、自宅で仕事をしていると回答した者、「ふだん自宅にいるときによくしていること」で「家事・育児をする」と回答した者を除く。
3. 全国の推計数は、有効回収数に占める割合に、総務省「人口推計」(2009年)における15~39歳人口3,880万人を乗じたもの。
4. 狭義のひきこもり23.6万人は、厚生労働省「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」における推計値25.5万世帯とはほぼ一致する。

第3節 キャリア教育

1 職場体験やインターンシップの実施状況

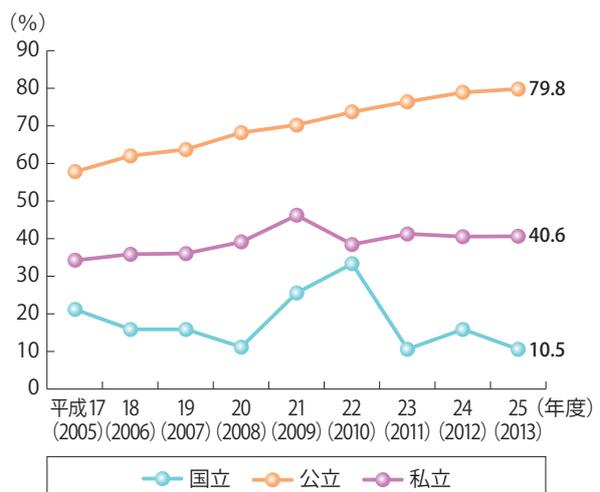
○中学校における職場体験や高校におけるインターンシップの実施率はおおむね上昇傾向。大学等におけるインターンシップの実施率はこのところ横ばい。(図表37, 図表38, 図表39)

図表37 中学校における職場体験の実施率



(出典) 文部科学省国立教育政策研究所「職場体験・インターンシップ実施状況等調査」

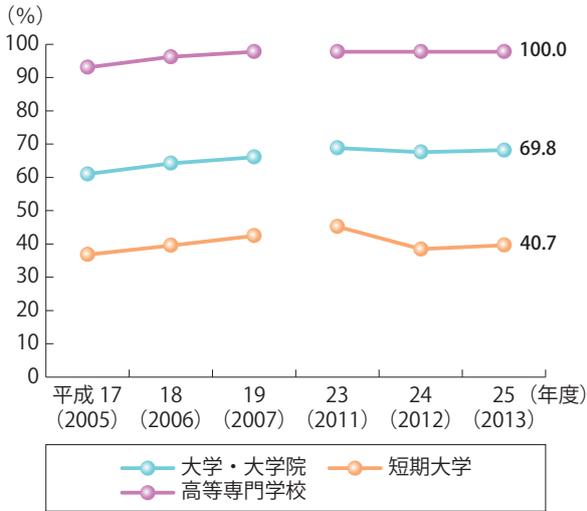
図表38 高校におけるインターンシップの実施率 (全日制・定時制・通信制)



(出典) 文部科学省国立教育政策研究所「職場体験・インターンシップ実施状況等調査」, 文部科学省資料

(注) 「体験者数」とは、3年間を通して1回でも体験した3年生の数の全体に占める割合。

図表 39 大学におけるインターンシップの実施率



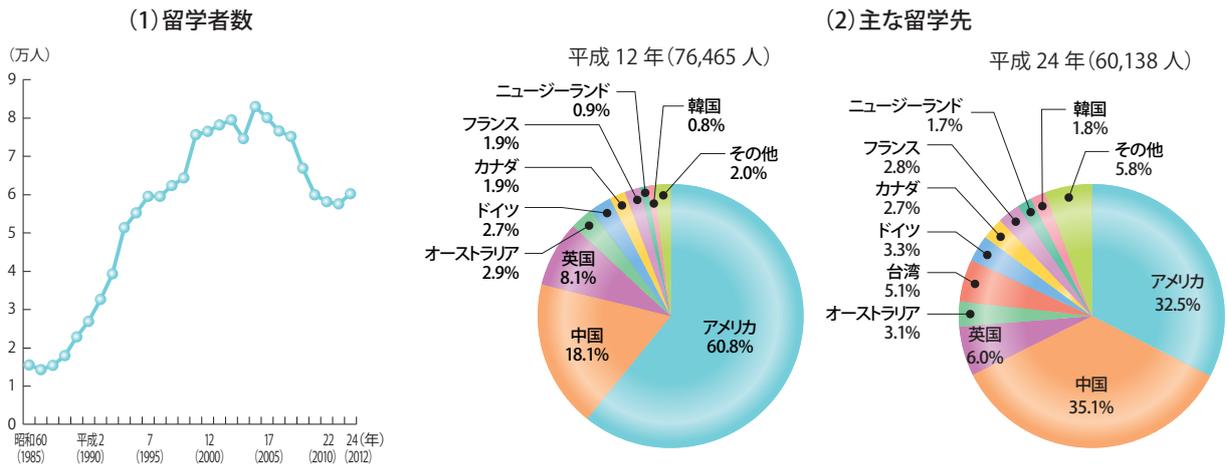
(出典) 平成17年度～19年度、23年度：科学省「大学等におけるインターンシップ実施状況調査」
平成24年度、25年度：独立行政法人日本学生支援機構「大学等におけるインターンシップの実施状況に関する調査」
(注) 1. 単位認定を行う授業科目として実施されているもの。
2. 特定の資格取得を目的として実施するもの（教育実習・医療実習・看護実習など）を含まない。

第4節 国際交流

1 海外留学，帰国子女

○海外への留学生は減少が続いてきたが、下げ止まった。(図表 40)

図表 40 日本人の海外留学状況



(出典) 文部科学省「日本人の海外留学状況」
(注) 以下の資料を基に文部科学省が集計したもの。
OECD "Education at a Glance"
高等教育機関に在籍する「受入国に永住・定住していない」または「受入国の国籍を有しない」学生で、正規課程に属する者。
ユネスコ統計局
高等教育機関に在籍する「受入国に永住・定住していない」学生
Institute for International Education (IIE) "Open Doors"
アメリカ合衆国の高等教育機関に在籍している、アメリカ市民（永住権を有する者を含む）以外の者
中国大使館教育部
学生ビザ（Xビザ（留学期間が180日以上））または訪問ビザ（滞在180日未満）などで中国の大学に在学している者。
台湾教育部
台湾の高等教育機関に在籍している者（短期留学生を含む）。